

岩手県金融経済概況（2026年2月）

1. 概況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、持ち直しの動きが一服している。

先行指標である公共工事請負金額（2026年2月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲57.2%）。

設備投資は、増加している。

2025年12月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2025年度は製造業と非製造業がともに前年度を上回っており、全産業では前年度を+10.0%上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2026年1月）は、6ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲14.5%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2026年1月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（同▲0.1%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2026年2月）は、8ヵ月連続で前年を下回った（同▲6.2%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2026年1月）は、4ヵ月振りに前年を上回った（前年比+21.2%）。内訳をみると、持家（同+55.0%）、貸家（同+7.6%）、分譲（同+57.1%）とも前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに回復している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2025年12月）は、5ヵ月振りに前月を下回った（前月比▲8.7%）。主な業種の指数をみると、電子部品・デバイス、食料品等が低下した。

四半期の動きをみると、2025/10～12月は2期連続で上昇した（2025/4～6月：前期比▲5.7%、7～9月：同+2.7%、10～12月：同+4.6%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2026年1月）は、1.10倍と、前月（1.08倍）から上昇した。

雇用者所得（県内合計値：2025年12月）は、常用雇用指数（前年比+0.6%）が前年を上回った一方、名目賃金指数（同▲4.7%）が前年を下回ったことから、2ヵ月振りに前年を下回った（同▲4.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026年2月）は、引き続き前年を上回った（前年比+1.9%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2026年2月）は、4件、負債総額435百万円となった（前年同月）は9件、負債総額2,157百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2026年1月）をみると、預金が前年並みとなり、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2026年1月）は上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

